

ぼくが生きてる、 ふたつの世界

伝えられない想いが
あふれます。



監督: 呉美保 主演: 吉沢亮 脚本: 港岳彦

忍足亜希子 今井彰人 ユースケ・サンタマリア 烏丸せつこ でんでん

原栞貴子 山本浩司 河合祐三子 長井恵里

原作: 五十嵐大「ぼくが生きてる、ふたつの世界」(幻冬舎刊) 企画・プロデュース: 山国秀幸

製作: 「ぼくが生きてる、ふたつの世界」製作委員会(センターがストリー/博報堂DY/エニックス/キタウチ/IR西日本ロコモーション/アパリア/アミューズ/河北新報社/東日本放送/エンタープライズ)

助成: 文化庁文化芸術振興費補助金(映画創造活動支援事業) 独立行政法人日本芸術文化振興会

©五十嵐大/幻冬舎 ©2024「ぼくが生きてる、ふたつの世界」製作委員会 配給: ギャガ GAGA+ gaga.ne.jp/FutatsunoSekai/

母に背を向け、故郷を離れたぼく——。

繊細に紡がれる、きこえない母ときこえる息子、そしてあなたの物語。

GAGA★
GENDA GROUP



親子の物語が、そしてひとりのコーダの心の軌跡が、点描のように紡がれていく……。監督は、本作が9年ぶりの長編作品となる、『そのみにて光輝く』『きみはいい子』の呉美保。作家・五十嵐大氏の自伝的エッセイを原作に、脚本は『正欲』の港岳彦。吉沢亮が、「きこえる世界」と「きこえない世界」を行き来しながら生きる主人公を体現、自身の居場所を見出していく若者の心を繊細に演じた。母・明子役には、ろう者俳優として活躍する忍足亜希子。

やがて母への想いが観る者の胸にも静かに温かく満ちていく、心に響く映画が誕生した。

*コーダ、きこえない、またはきこえない親を持つ聴者の子供

母と息子、切なくも心に響く家族の物語

Story

宮城県の小さな港町、五十嵐家に男の子が生まれた。祖父母、両親は、“大”と名付けて誕生を喜ぶ。ほかの家庭と少しだけ違っていたのは、両親の耳がきこえないこと。幼い大に

とっては、大好きな母の“通訳”をすることも“ふつう”の楽しい日常だった。しかし次第に、周りから特別視されることに戸惑い、苛立ち、母の明るささえ疎ましくなる。心を持って余したまま20歳になり、逃げるように東京へ旅立つ大だったが……。



「ぼくが生きてる、ふたつの世界」酒田市上映会 全編日本語字幕付き(バリアフリー上映)

2026年 **3月14日(土)** 酒田市総合文化センター

①10:30 ②13:30 ③18:30 満席の際は次回にお回りいただくこともございます

※各上映開始前に10分程「コーダ」等についてのミニ講座あります。

前売券 一般・シニア・大学生 **1,200円**

※小中高生は当日券(800円)でご覧下さい

【前売券取扱所】みずほ八文字屋、酒田市総合文化センター事務室

当日券 一般・シニア 1,500円
大学生 1,300円
小中高生 800円
(小学生未満無料)

【主催】映画「ぼくが生きてる、ふたつの世界」酒田市上映実行委員会 【共催】酒田市
【構成団体】山形県聴覚障害者協会庄内支部、全国要約筆記問題研究会山形県支部、
山形県手話通訳問題研究会庄内班、山形県盲ろう者友の会、要約筆記サークルなぎ、
酒田市手話サークルゆずり、映画サークルあるふぁ'85、港座アートヴィレッジ
【後援】酒田市教育委員会、酒田市社会福祉協議会、酒田市障がい者福祉会、酒田特別支援学校教育後援会

【お問合せ】酒田ドラマチックカンパニー
090-2277-5039(市村) FAX 0234-25-1235

【協力】  **TUY** テレビユー山形